

沖縄県立沖縄高等特別支援学校 部活動に関する活動方針

2 部活動に関する活動方針

(1) 部活動のねらい

- ①生涯教育の観点から、スポーツや文化活動に親しむ機会とする。
- ②職業自立に向けて、意欲、体力の向上を図る。
- ③集団活動における基本的なルールやマナーを身につける。
- ④地域社会の行事へ積極的に参加する態度を養う。
- ⑤各種スポーツや文化活動への理解と技能を高める。
- ⑥自主的・自発的に活動する態度を養う。

(2) 運営費について

- ①活動費は、部活動運営費(保護者から上限 1000 円を徴収可)、生徒会予算(派遣費)、その他をもって充てる。
- ②部活動活動費を徴収した部活動の会計報告は、毎年 3 月末で決算を行うこととする。

(3) 部員の資格・入退部について

- ①入部資格 希望者を対象とし、学校長、担当者、保護者の許可した生徒とする。
- ②入部手続き 本人もしくは保護者が入部届の提出ならびに部活動運営費の納入(必要な部活)後、入部を認める。
- ③退部手続き 部活動担当者の許可と保護者の了解のもと、退部届けを提出して行う。

(4) 活動規定

- ①部活動は、学校の管理のもと、担当者を配置して実施する。
- ②活動日は、次の通りとする。
 - ア 火・木の 16:15~17:00 を基本とし、担当職員の判断で月、水、金も活動を認める。
(会議や研修等が無く、担当職員が指導できる場合に限り)。
 - イ 土・日・祝祭日・長期休暇中の部活動は、担当者の計画・管理の下行き各部署に連絡して実施する。
- ③活動場所は、原則として学校内とする。
- ④家庭訪問・個人面談・就業体験期間・体育祭練習期間・テスト前日の部活動は、原則として休みとする。
- ⑤部活動に参加できない場合(学習活動・生徒会活動・体調不良等)は、事前に連絡調整をする。
- ⑥寄宿舎の行事があるときは、事前に連絡調整をする。
- ⑦活動日に休部する場合は、各部活動顧問が寄宿舎へ連絡する。
- ⑧学校生活がしっかりできていない生徒は一定期間部活動に参加させないこともある。

(5) 部員心得

- ①礼儀正しく、身なりをきちんとし、あいさつ・言葉遣い・時間のけじめをつける。
- ②担当者の指導助言を受けて活動計画を立て、計画に沿って自主的・自発的に活動する。
- ③学校の施設・用具等は大切に使用し、練習場所等の保清に努め、整理整頓や戸締まりを心がける。
- ④安全面に十分注意し、事故防止に努める。
- ⑤自分の力を十分に発揮し、明るく楽しい活動ができるように心がける。
- ⑥授業を見学・保健室で休養した場合は原則として、その日は部活動には参加できない。
- ⑦帰りの SHR は制服で参加し、部活動は相応しい服装に着替えて参加すること。

(6) 部活動の事故について

担当者は、指導上常に安全面に留意するが、事故や災害が発生した場合は独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済を活用する。

(7) 部活動の設置について

①前年度設置した部活動を基に生徒の希望調査、教師側の顧問希望調査を経て開設する部活を決定する。

②新たに設置を希望する部活動がある場合は、職員会議等で検討する。

令和3年度 設置されている部活動

アビリンピック	・アビリンピックに向けた練習、大会参加等。活動期間は大会前1カ月間（放課後） 種目 ●ビルクリーニング：指定時間内に各課題における清掃作業を行う。 ●喫茶サービス：お客様に対して一連の接客業務が正確かつスムーズにできるよう技術を競う。 ●オフィスアシスタント：制限時間内にいかに早く、正確に事務作業するかを競う。
卓球	・基本練習。 ・高体連関連大会、県障害者卓球大会等への参加を目指した練習 等
バスケットボール	・バスケットボールの練習・簡易ゲーム
バドミントン	・バドミンントンの練習・簡易ゲーム・高体連関係大会等への参加 等
屋外運動部	・野球の練習・職員チームとの試合 等 ・サッカーの練習・簡易ゲーム・近隣の学校や職員チームとの試合 等
陸上	・ランニング（短・中・長） ・体力づくり の参加を目指した練習 等
パソコン	・資格取得（パソコン検定等）に向けた取組み・タイピング練習 等
バレー	・バレーの練習・簡易ゲーム 等
美術工芸	・絵画作品製作・学校行事などでの展示、発表 等
書道	・毛筆、硬筆（鉛筆）、ボールペン、筆ペン
英会話	・職業に役立つ英会話。ALTの先生が来校する日に行う。